



南アフリカ通信

No.4 (2022.10)

JICA 海外協力隊 (2022 年度 1 次隊)
小学校教育 北川裕介



季節は秋。まわりの山々や木々が赤や黄色に美しく色づき始めているのではないのでしょうか？

南アでは「南半球の桜」とも言われ、世界三大花木の一つである『ジャカラダ』が見ごろをむかえています。とてもきれいな紫色の花を咲かせます。

さて、秋といえば「食欲の秋」。ということで、今回は私がふだん食べているものやシロアム小学校の給食について紹介したいと思います。



首都プレトリアは「ジャカラダのまち」とよばれています。とてもたくさんジャカラダが咲いています。

【主食は何を食べているの？】



手で食べるよ！アフリカでは一般的な食べ方です。

南アにくらす人々の多くの主食は『パップ』です。パップはとうもろこしの粉と水を煮て、こねたものです。白いものや黄色いものなど数種類あります。日本でいうお米のような存在で、ほぼ毎日食べます。もちろん、パンやお米（日本のお米のようにモチモチではなく、パサパサです）、パスタもありますが、パップが圧倒的に人気です。味は「お米を薄くしたような味」で、種類によっては少しすっぱいものもあります。見た目はモチモチしていますが、食感はフニャっとしています。

【給食は一体どんなメニューなのだろう？】

学校での楽しみの一つと言えば、やっぱり給食！！南アの子どもたちも同じです。給食費はなんと 0 円！ほとんどの子は給食を食べますが、お弁当を持ってくる子や売店で売られている食べ物・お菓子を買って食べる子もいます。



ご飯・チキン煮込み

右の子は売店でアチャ（パイナップルを油で漬けた物）も買っています。



とうもろこし・豆の甘煮

早く食べたそうな女の子。スプーンを使う子もいます。



パップ・野菜炒め・魚のスープ

お皿は一人一つです。学校だけでなく家でもこのスタイルが多いです。



売店

食べ物やお菓子、アチャが買えるよ！



売店で買ったパン・フライドポテト



「マシンバ」という甘すっぱいお菓子 食べると手と口が真っ赤に！

【先生たちはお弁当です！】

大きな学校では先生たちの分の給食はないので、学校の近くのお店でお弁当を作ってもらいます。1食30ランド（約240円）です。日本の給食費と同じくらいかな？



パップ・チキン・かぼちゃペースト・ビーツの漬物
パップの量がとても多いです・・・。



パップ・牛肉（足の部分）・ほうれん草
牛の足の形がはっきり分かります。日本では食べたことのない部位でビックリ。



先生たちのお弁当を作るお店
大きな鍋と大きなへらでパップをこねているところです。

【調理場と調理員さんのしょうかい】



給食室や給食センターはありません。雨でも外で作ります。屋根があるよ！



5人で給食を作っています。お皿も洗ってくれます。残さず食べようね！

【おはしにチャレンジ！】



はしでつかむのは難しかったようです。「日本人すごいね！」とほめてくれました。

【その他いろいろ】



フライ
BBQのことです。休日などに家族や友人でフライを楽しむ文化があります。



パパイア
家のまわりにたくさんパパイアの木が生えています。マンゴーやアボカドも！



モパニワーム
実はまだ食べたことはありません。昆虫食は未来を救う重要なタンパク源として世界的に注目されているんですよ！

～命をいただくということ～

先日、初めて ^{にわとり} 鶏 ^し が絞められる様子を見ました。自分の命が終わると ^{さと} 悟り、バタバタと抵抗し泣き叫ぶ声、首を落とされる瞬間 ^{しゆんかん} のさみしい目、切り口から ^{したた} 滴る真っ赤な血……。一瞬一瞬 ^{いっしゆん} の光景 ^{こうけい} が今でも脳裏 ^{のうり} に焼き付いています。見ていてものすごく辛かったです。「ごめんね……。」と何度も心の中で言いました。

「食べることは、生きること。命をいただくということ。」

頭では分かっていたけど、でも、それは分かったつもりだったことに気づかされました。現代の日本で生活しているとそのことをなかなか実感できません。南アに来て、食べ物を目の前にするたびに、今朝 ^{あした} すれ違 ^{ちが} った生き物たちの顔が頭に浮かぶようになりました。「いただきます」、「ごちそうさまでした」には ^{さまざま} 様々な思いが込められています。その思いの一つに、^{せいいつぱい} 精一杯 ^{とうと} 生きていた ^{とうと} 尊 ^{とうと} い命 ^{とうと} に対しての思いがあることを忘れないでほしいと思いました。

